

一月三十日(木)

二〇二五年度 一般入試(前期)

国 語

【注意事項】

- 一、試験開始の合図があるまでこの問題冊子は開かないでください。
- 二、この問題冊子は一〜一三ページです。試験中にページの脱落や印刷不良に気付いた場合は、手をあげて監督者に知らせてください。解答用紙はマークシート一枚です。

- 受験番号は下記の記入例に従って記入してください。
例) 受験番号12045の場合

受験番号				
受験番号を記入し、さらにその下の欄にマークしてください。				
1	2	0	4	5
	0	●	0	0
●	1	1	1	1
2	●	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	●	4
5	5	5	5	●
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
9	9	9	9	9

- 三、マークシートの科目名欄に「国語」と記入し、「国語」の欄をマークしてください。
- 四、マークシートには鉛筆ではっきりとマークし、消しゴムのカスはきれいに取りのぞいてください。
- 五、問題番号〔1〕〔2〕〔3〕…は、マークシートの解答番号〔1〕〔2〕〔3〕…を示します。
- 六、下敷きの使用は原則として認めません。机に凹凸があって、マークシートへの記入にあたって支障がある場合は申し出てください。
- 七、試験開始後の途中退室は認めません。
- 八、この問題冊子は持ち帰ってください。

国語

〔一〕 次の文章を読んで問〔1〕～〔18〕に答えよ。

ある時期まで、私はいわゆるノリのいい学生たちを見ていて、楽しくもないのに、楽しそうなふりをして、面白くもないのに、面白そうなふりをするなんて、なんと大変なことだろうと思っていました。私自身、若い日、そういう無理をしたときがあったし、「ここは安心して真面目になれる場所」と私の研究室にやってきた学生たちからは「空気を読む」苦勞も実にしばしば聞いていたからです。「本当に悩んでいいんですね」と念押しにやってきた院生も、私のゼミの学生たちと通じ合うところをたくさんもった学生であったに違いありません。

でも、今はノルことを何の苦とも思っていない人たち、むしろノルことがほとんどその人のすべてを占めているように見える人々がいること、それもかなりの数を占めていることを私は認めなければならなくなりました。

^Aこの変化はどのようにしてもたらされたのか。ここにきて、私は今、何年も前にふと耳にした作曲家の小林^{*i}亜星のことばを思い出します。小林亜星が実際にどんな曲をつくり、他にどんな仕事をした人なのか、当時も今も私はほとんど知らないのですが、その日、たまたまつけたTVに彼が出ていて、インタビューに答えてこう言ったのです。

^B「コマーシャル・ソングには半音は使えないんです。コマーシャル・ソングというものは全音だけが求められるのです」

このことばひとつで、小林亜星は私にとって忘れられない人になりました。

「そうか！ 日々TVでも街中でも耳にするコマーシャル・ソングとは、そういうものだったか」音楽に¹疎い私にも、これには^Pがきました。半音がなく、全音だけで成り立つ音楽とは、ピアノで言えば黒鍵を使わない音楽。黒鍵なしに奏でられる曲とは、^aイン影のない、ある意味単純で明るい、軽快な音楽ということです。確かにコマーシャル・ソングに影があったり、ためらいがなくては、買い手売り手の差し出す商品に走らせません。コマーシャル・ソングは、消費者の足を止めてははいけない。消費者を迷わせたり、悩ませたり、ためらわせたりしたら、コマーシャル・ソングの役目は果たせないのです。だって商品に向かって伸ばされた手を止めたり、引っ込ませたりしては、売り手は困るわけでしょう。

そして今、気が付けば、このコマーシャル・ソングの空気が街をおおいつくし、ついには大学にまでも入り込んできているのです。そうです。今や大学の授業までが、急速な勢いで^Qされています。いえ、すでに何年も前からそれへの傾きはあったのですが、今はためらいもなく、おおっぴらに^Qが求められるようになりました。

大学当局、教員、学生^bのキョウ合^cによって、学生ははっきりと大学という商店の客になりました。授業はあらかじめ提出されたシラバス（講義の実施要項）どおりに進めることが求められるようにな

りました。これは商品の説明書だから、そのとおりでなければ約束違反ということになるのです。授業は人間がつくりだしていくものです。途中で思いがけない質問が出て、そのおかげで予想をはるかにこえたゆたかな展開をみせることはよくあること。でも昨今ではこういうドラマの誕生は予定外のこととして、マイナス点さえつけられるようになりました。もっとも、これは大学に限ったことではないかもしれませんね。中身はどうであれ、事が滞りなく進むこと。すいすいとひっかかりなく進むこと。日々の暮らしから国会の議論まで、この頃は同じ傾向にあるように思われます。

あれは確か二〇一二年六月下旬のある土曜日のことだったと思います。昼下がりに、私はひとり久しぶりに渋谷の雑踏の中を歩いていました。客を店に呼び込む甲高い声、声、声。にぎやかな音楽。目一杯おしゃべりした若者たち。その笑い、さんざめく声。そうした若者たちの間をぬって歩くうちに、私は次第に奇妙な感覚にとらわれていきました。

なんだか、幽霊たちの中を歩いているような気がしてきたのです。これはどこかで体験したことがある……と考えて、それが『ゲド戦記』第三巻「さいはての島へ」のローバネリーの世界であることに気が付きました。そして同時に、同じ物語の黄泉の国で見かけた人々をも、このとき私は思い出し、ていまして。なんだか、まるで実体がないような……。街はただただ明るいただけで、影がないのです。その影のなさが私を落ち着かなく、不安にさせました。その不安の中で私は必死になって、前日読み終えた『棺一基 大道寺将司全句集』（太田出版）を思い起こしていました。明るく、にぎやかなこの渋谷の雑踏より、独ボウに三七年暮らすこの死刑囚の句集の中のほうが、私にはずっとあ

「あそこにはまっとうな人がいる」

私は人混みの孤独の中で思いました。そう思うことで、ようやく道を踏みしめていくことができました。

もちろん渋谷の雑踏の人々がみなまっとうでなかったわけではないでしょう。そのまっとうさにおいて——「まっとうさ」というとき、私はそこに人間としてのセツ度と気品を思い浮かべているのですが——精神の自由も含め、私よりはるかに大道寺氏に近い人々も、この日、人混みの中に紛れ込んでいたに違いありません。つかの間、抱えている悩みも悲しみも忘れて、雑踏の一部になろうとした若者たちもいただろう。そう信じたいと思います。

けれど、それはミニ・シアターで念願の映画を見終わり、新幹線で帰路についたその車中で思い直したことで、あの午後感じた街の雑踏の虚ろさは虚ろさのまま、消えそうにも消えないリアリティをもって、今もなお私にまとわりついてきています。

あとき、私は人混みの中を他人にぶつからないようにおどおど歩きながら、こうして一見自由に見える巷を笑いさんざめきながら歩いている人々より、獄中の大道寺将司死刑囚のほうがはるかに自由で、はるかにものがよく見えていることをあらためて痛感させられ、その俳句にうかがわれる人としてのまっとうさに支えられ続けたのでした。

三菱重工爆破（一九七四年）を含む複数の「連続企業爆破事件」で幾人もの人を殺めておいて何がまっとうかと、すぐさま問い返されることはわかっています。それでも私が、この会ったこともな

ければ、声を聞いたこともない死刑囚に、人としてのまっとうさを見ずにいられないのは、彼の悔やんでも悔やみきれない後悔と懺悔、深い悲しみをその句に読み取らずにはいられないからであり、「死刑を前提としてのみ生かされている」自分を受容しつつ、獄中、獄外双方に生きる人々の痛み、悲しみをその身に引き受け、しかもそうした日々のおりに、獄にいて、わずかにふれうる自然の営み、季セツの移り変わりにも心をふるわせているからです。

損か得か。高いか安いか。快か不快か。それ以外のどんな尺度をあの日、雑踏の人たちは持ち得ていたのでしょうか。明るすぎる街のどこに、悩みや悲しみの居場所があったのでしょうか。

(清水真砂子『大人になっておもしろい?』。なお、出題に際して一部本文を改めてある。)

注

* 1 小林亜星：日本の作曲家、作詞家、俳優。(一九三二—二〇二二)

* 2 大道寺将司：一九七〇年代に爆弾テロを行った東アジア反日武装戦線狼部隊のリーダー格で、「連続企業爆破事件」により死刑判決が確定していたが、病死した。(一九四八—二〇一七)

〔1〕 傍線部1「疎い」の漢字で書かれた部分と同じ漢字を用いるものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号①)

- ① 侵入をソ止する。 ② ソ末な着物を着ている。 ③ ソ外感を味わう。
- ④ ソ材を吟味する。 ⑤ 被疑者をソ追する。

〔2〕 傍線部2「滞り」の読みとしてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号②)

- ① あせり ② ぬかり ③ いつわり ④ とどこおり ⑤ おもんばかり

〔3〕～〔6〕 傍線部a～dのカタカナで書かれた部分と同じ漢字を用いるものを、次の①～⑤からそれぞれ一つ選び、解答欄にマークせよ。

a イン影 (解答番号③)

- ① 光イン矢のごとし。 ② 彼とイン戚関係になる。 ③ 七十歳でイン居する。
- ④ 暴イン暴食をする。 ⑤ イン習にとらわれない。

b キョウ合 (解答番号④)

- ① キョウ都に旅する。 ② キョウ泳の選手。 ③ キョウ喜乱舞して喜ぶ。
- ④ 国キョウを越えて旅をする。 ⑤ 自由をキョウ受する。

c 独ボウ (解答番号⑤)

- ① 休日は朝寝ボウしたい。 ② 堤ボウ工事を請け負う。 ③ 第三国にボウ命する。
- ④ 鉄ボウで金メダルを取る。 ⑤ 今夏は冷ボウをよく使った。

dセツ度(解答番号⑥)

- ① 稚セツな会話。
- ② 施セツを点検する。
- ③ 面セツ試験を受ける。
- ④ セツ那的な生き方。
- ⑤ 指の関セツを痛める。

[7] 波線部ア「空気を読む」の本文における内容として適切でないものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⑦)

- ① 楽しくもないのに楽しそうなふりをする事。
- ② 面白くもないのに、面白そうなふりをする事。
- ③ 「私の研究室」以外では「真面目」にならないように振る舞う事。
- ④ ノリのいい学生と思われるように無理をする事。
- ⑤ ノルことを何の苦とも思わない事。

[8] 二重傍線部A「この変化」とはどのような変化か。もっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号⑧)

- ① ノリのいい学生が楽しくないのに楽しそうなふりをしたり、面白くもないのに面白そうなふりをしたりするようになったという変化。
- ② ノルことを何の苦とも思っていない、むしろノルことがほとんどその人の全てを占めているように見える人々がかなりの数を占めるようになったという変化。
- ③ 「安心して真面目になれる場所」を探して「私の研究室」にやってきた学生たちが、「空気を読む」ことに苦勞を感じて、ノリのいい学生になりたいと思ひ始めるような変化。
- ④ 「本当に悩んでもいいんですよね」と筆者に念押しをしていた学生が、いつのまにかノルことがほとんどその人のすべてになったという変化。
- ⑤ コマーシャル・ソングなどの影響で、多くの人が単純で明るく、ためらいのない消費者になっていくような変化。

〔9〕 二重傍線部B「コマーシャル・ソングには半音は使えない」とあるが、この理由として適切でないものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔9〕)

① コマーシャル・ソングに影があったり、ためらいがあっては、買い手が購入をためらってしま
うかもしれないから。

② 全音だけで成り立つ曲は、イン影のない、単純で明るく、軽快な音楽なので、消費者の気持ちを迷わせないから。

③ ピアノでいえば黒鍵なしで奏でられる音楽は、演奏が簡単で、どんな商品のコマーシャルにも使えるから。

④ 売り手にとっては、買い手が商品に向かって伸ばした手を止めさせないことがコマーシャル・ソングの役目だから。

⑤ 日々TVでも街でも耳にするコマーシャル・ソングは、消費者の足を止めさせないようなものでなくてはならないから。

〔10〕 空欄部 **P** に入る語としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔10〕)

① 画点 ② 我点 ③ 月点 ④ 合点 ⑤ 賀点

〔11〕 空欄部 **Q** に入る語句としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。解答番号〔11〕

① 単純化 ② 私物化 ③ 文章化 ④ 具体化 ⑤ 商品化

〔12〕 二重傍線部C「学生ははっきりと大学という商店の客になりました」とあるが、「学生」が「大学」という商店の客になりました」の具体的な例として、もっとも適切なものを、次の①～⑤から選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔12〕)

① 学生が、中身はどうであれ、予定されたシラバスどおりの授業の方が、ひっきりなく進むので安上がりだと考える商店の客のような存在になったということ。

② 大学は、商品の説明書のようなシラバスどおりに授業を進めるようになったため、学生は商店の客のように、あらかじめ期待した商品としての授業を受けるようになったこと。

③ 学生は、商店の客が安い店を探して買い物をするように、シラバスどおりにすすいと滞りなく授業を進める大学を求めて、いくつもの大学をわたり歩くようになったということ。

④ 大学当局と教員と学生がキョウ合した結果、商店の客のような学生が勝利し、商店主のような大学当局と教員は学生の要求に従わざるをえないということ。

⑤ 大学ではシラバスどおりに授業が進められることになり、客である学生の購買意欲に合致する質の高い授業を行うためには、授業料の値上げが必要だということ。

〔13〕 波線部イ「ドラマ」の本文中の意味としてもっとも適切な語句を、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔13〕)

- ① 非常識な筋書き
- ② 想定内の事柄
- ③ 劇的な出来事
- ④ 授業中の芝居
- ⑤ テレビの番組

〔14〕 二重傍線部D「私は次第に奇妙な感覚にとらわれていきました」とあるが、この時の筆者の心情としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔14〕)

- ① 渋谷の明るくにぎやかな雑踏の中で、幽霊たちの中を歩いているような気分になり、渋谷を黄泉の国だと感じている自分に対して、不安がこみ上げてきたこと。
- ② 渋谷の明るくにぎやかな雑踏の人々が、人間なら抱えているはずの悩みも悲しみもない、まるで影のない虚ろな人々のように感じられたこと。
- ③ 土曜日の昼下がりの渋谷で、『ゲド戦記』や『棺一基 大道寺将司全句集』を思い出している自分を実体がないもののように感じ、人混みの中で孤独を感じていたこと。
- ④ 渋谷の雑踏の中を久しぶりに歩いているうちに、明るくにぎやかな若者たちに囲まれていることが不安になり、死刑囚の句集を読んでいた前日の方がまだよかったと思ったこと。
- ⑤ 渋谷の雑踏の中を歩いているうちに、『ゲド戦記』第三卷「さいはての島へ」のローバネリーの世界に迷い込んでしまい、人々のただ明るく影のない様子に不安を感じたということ。

〔15〕 空欄 あ に入る語句としてもっとも適切なものを、①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔15〕)

- ① 必死になった
- ② 安らげた
- ③ 孤独になった
- ④ 驚かされた
- ⑤ 久しぶりだった

〔16〕 波線部ウ「あそこ」とはどこをさすか。もっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔16〕)

- ① 渋谷の雑踏の中
- ② 『ゲド戦記』第三卷「さいはての島へ」の中
- ③ 黄泉の国
- ④ 『棺一基 大道寺将司全句集』の中
- ⑤ 人混みの孤独の中

〔17〕 波線部エ「リアリティ」の本文中の意味としてもっとも適切な語句を、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔17〕)

- ① 真実性
- ② 虚脱感
- ③ 具体性
- ④ 既視感
- ⑤ 象徴性

〔18〕 二重傍線部E「明るすぎる街のどこに、悩みや悲しみの居場所はあったのでしょうか」という部分に表れている筆者の気持ちとしてもっとも適切なものを、次の①～⑤から選んで解答欄にマークせよ。(解答番号〔18〕)

①全音だけで成り立つ単純で明るいコマースャル・ソングの空気がおおいつくしている街では、物事が滞りなく進むことが求められているが、それでも街のどこかには、悩みや悲しみを感じられる場があるはずだと期待している。

②大学の授業でさえ、思いがけない質問や展開はマイナス点をつけられるようになる中で、街中ではすいすいとひっかかりなく物事が進むことばかりが求められているので、悩んだり悲しんだりすること自体がまっとうなことではないと気づき始めている。

③一見自由に見える巷を笑いさんざめきながら歩いている人々もみな、悩みや悲しみを抱えたまっとうな人々であり、人混みにあふれる明るすぎる街では、悩みや悲しみを出せないだろうと感じている。

④単純で明るく、悩んだり迷ったりしないことがほとんどその人のすべてを占めているように見える人々が、街中に増えていることで、悩みや悲しみを抱えた人の居場所は街にはないと感じている。

⑤獄中の大道寺将司死刑囚は、獄中、獄外双方に生きる人々の悲しみをその身に引き受けることで独房を居場所とすることができていたように、渋谷の雑踏の人々も、悩みや悲しみをその身に引き受ければ、街を居場所にすることができると感じている。

(二) 次の文章を読んで、問(19)～(36)に答えよ。

新聞記事や論説文であれば、書き手には伝えたい主題、メッセージ、問題提起等があり、文章を通じてそれらを読者に明確に伝えることが第一義となる。つまり、新聞記事や論説文の文章とは、書き手の考えを伝えるための、一種の伝達手段となる。だが記事や論文と同じように文章の連なりから作られてはいても、小説や詩は違う。例えば、次の文章を読んでみて欲しい。

ああ、もしインディアンだったら、すぐにでも走り抜けて行く馬に飛び乗って、風に身を伏せ、揺れる大地に身も戦おのき、また戦き、ついには足は拍車を離れ、だって拍車なんかもうないんだから、手は手綱を捨て、だって手綱なんかとっくにないんだから、目の前にはただ借りつくされた荒野のほかは見えるものとしてほとんどなく、気がつけば馬の首も頭ももうとっくに消え去って。

〔「インディアンになりたいという願い」』カフカ・セレクションⅡ 運動 拘束〕

フランツ・カフカ著、平野嘉彦編、柴田翔訳、ちくま文庫、二〇〇八年)

これは、^{*1}フランツ・カフカがノートに書き遺した断片の中の一つだが、初めてこの文章を読む読者は、何を感じるだろう？ 荒野をシaツ走する馬の背中で浴びる、思わず身を伏せずにはいられない風の冷たさかもしれないし、飛び乗ったはよいが予想外のスピードで走る馬に対する恐怖かもしれない、カフカと同時代の十九世紀末から二十世紀初頭のヨーロッパ人が抱いたであろう、新大陸の見渡す限りの原野への憧れであってもよいだろうし、首と頭のない馬がそれでも人間を乗せて走り続けているという、若干グロテスクなイメージであってもよいだろう、中には、こんなのは非現実的なイメージ¹の羅列¹としか自分には思えない、つまらないという反感、不快感を覚える人もいだろう。この文章から何を感じるかは、読者一人一人の自由であり、どんな感想を持っても構わない。カフカ本人も、読者に伝えたい明確な意図や主題、何かの比喻としてこの文章を書いたわけではない。

こうした文章を読んでいる最中に、私たちの中に湧き起こってくる気持ちのざわつき、言語化する²ことも躊躇ためらわれるような、強い波動を受けるような感じは、セザンヌの重力に逆らうかのような奇妙な構図の静物画を見たときや、モーツアルトの天国的な^bセン律*3に浸りきっているときに、私たちの内部で生じる感覚に極めて近い。つまり小説とは音楽や美術の仲間であり、言語を用いてはいるが、新聞記事や論文のような論理的な文章とは異なる、紛れもない「言語芸術」なのだ。

しかし、^アそこから何を感じ取ろうと自由な、正解など存在しない、Pの一つである小説を、学校の授業で、教壇に立った教員が学生に教えることなど可能なのだろうか？ 私、個人的には、それは不可能だと思っている。小説を取り上げる大学の授業で、多くの教員が教えているのは、文学史におけるその作品の位置付け、重要性、作者の来歴、アカデミズムの世界では一応それが「常識」とされている、その作品の解釈の仕方などの、周辺情報や知識の類に過ぎない。それらは小説本体とは、何の関係もない。

小説が **P** である限り、「教える」ことは不可能かもしれない、しかし「共感する」ことであれば、それは可能なように思う。例えば、サッカーが好きな人同士であれば、欧州リーグで活躍するフリーキックの名手の蹴ったボールが、どれほど美しい弧を描いてゴールに吸い込まれていくか、語り合うことは可能だろう、音楽のロックが大好きな人同士であれば、早逝したギタリストのジミ・ヘンドリックスの爪弾くフレーズがいかにカッコよいか、ブルースに根差しているながら極めてカク新的だったかを、何時間でも話し合えるだろう。同じように小説に対しても、「あの作家の小説は、読み進めていく内にどこへ連れて行かれるか分からない」だとか、「あの小説が凄いのは、たった一文で情景を一変させてしまうところだ」といった感想を互いに述べあって、共感しあうことはできる。

これが、小説本体に寄り添った授業なのだ、私は思う。もちろん共感などせずに、異なる見解を出したり、反論しても構わない、そのときにはもはや教員と学生、先生と生徒という関係ではなく、皆が一読者という対等な立場で意見し合っていることになるが、そうした対話を通してのみ、学生は小説という表現の自由さ、というよりは世界の在り方の「懐の深さ」ⁱ のようなものを知る。

私は現在、理系の学生を相手に文学の授業を行っているが、文系の、文学部よりも、理系のほうが変わった切り口で小説を読み解いたり、私も余り読んだことのないような不思議な短編を書いてくる学生が多いように感じている。これは恐らく、文学部の学生が知らず知らず刷り込まれてしまっている、文学に対する盲目的な、不要なリスベクトが、理系の学生にはないからのような気がする。文学・小説に対する **Q** や周辺情報が増えれば増えるほど、小説本体にまっさらな気持ちで向かうことは難しくなる、知識が邪魔をして、型に嵌まった読み方しかできなくなってしまうのだ。

そういう意味では、名前だけは有名でありながら、型通りの解釈に晒されることが多く、作品本体とはかけ離れた作家像が定着してしまっているのが、先ほども引用したフランツ・カフカだろう。ドイツ文学をセン門に研究している学者でさえも、カフカという名前を聞けば、ほとんど反射的に、「不条理」「悪夢的」「内省的」「生の不安」「シオニズム」といった単語を羅列してしまうのだが、それらの見方はカフカという作家およびその作品の、ごく限られた一面しか捉えていない。

代表作とされる『変身』は、主人公の服地のセールスマン、グレゴール・ザムザがある朝、胸苦しいう夢から目覚めると、巨大な毒虫に姿を変えてしまった場面から始まることから、高校の現代文の授業でも「不条理文学の傑作」などと安易に教えられてしまうのだが、じっさいにこの小説を先入観抜きに、丁寧に読んでみれば、読者の多くはかなり違った印象を持つはずだ。主人公が毒虫になった自分を発見した冒頭の、それに続く場面を引用する。

筆筒^{たんす}の上でチクタクいつている目ざまし時計に彼は眼をやった。「とんでもない！」時計は六時半だった。針はそのまま平然と進み、半もあっさり過ぎて、たちまち四十五分に近づいた。ベルが鳴らなかつたのか？ ベッドから見ても、たしかに四時にセットしてあるのだ。（中略）どうしたらいいか？ 次の汽車は七時発。それに乗ろうと思えば、むやみやたらに慌てふためく必要がある。生地の見本はまだ鞆^{づま}につめていない。気分はといえば、とても生気^{はつらつ}潑^{はつらつ}辣^{はつらつ}とはいいかね

る。そしてかりに七時の汽車に乗れたとしても、社長の **R** を覚悟しないわけには行かない。
(「変身」『決定版カフカ全集1 変身、流刑地にて』フランツ・カフカ著、マックス・ブロー
ト編集、川村二郎・円子修平訳、新潮社、一九八〇年)

^Cここで驚かされるのは、主人公は大きな毒虫に姿を変えてしまったにも拘わらず、そのことに絶望するわけでもなく、寝坊したことを悔やみ、会社に遅刻しそうになっていることに焦っているのだ！虫の身体で、いったいどうやって汽車に乗るつもりなのだろう？ この小説は、じっさいに本文を読み進めていけば自然と感ずることだが、思わず笑ってしまうような、奇妙なユーモアに満ち満ちている。カフカの他の作品も、じつは読んでみると非常に面白い。文章も生き生きとした躍動感に溢れている。「悪夢」や「生の不安」よりはむしろ、人間と現実世界への強い肯定を、私はカフカという作家に感ずる。

カフカに限らず、いかなる小説も、その小説を読んでいる最中の読者の中に湧き起こってくる正直な思い——高ヨウ、驚き、発見、不安、自分の立ち位置が揺らぐような感覚、意味不明さ——それこそが小説なのだ。小説に纏わる知識や作家のヒョウ伝などの周辺情報をいくら集めても、それらは小説ではない。小説は、じっさいにその作品を一文一文読むという、具体的な経験、読書の時間の中にしかない。そのことをまずは理解してほしい。

(磯崎憲一郎「小説を読む」上田紀行編著『新・大学でなにを学ぶか』。なお、出題に際して本文を一部改めてある。)

注

- * 1 フランツ・カフカ：現在のチェコ出身の小説家。プラハのユダヤ家庭に生まれる。(一八八三～一九二四)
- * 2 セザンヌ：フランスの画家。近代絵画の父といわれる。(一八三九～一九〇六)
- * 3 モーツァルト：オーストリアの作曲家。(一七五六～一七九一)
- * 4 ジミ・ヘンドリックス：アメリカのギタリスト。(一九四二～一九七〇)
- * 5 シオニズム：イスラエルの地に故郷を再建しようとするユダヤ人の近代的運動のこと。

[19]～[23] 傍線部 a～e のカタカナで書かれた部分と同じ漢字を用いるものを、次の①～⑤からそれぞれ一つ選び、解答欄にマークせよ。

a シツ走 (解答番号19)

① シツ病保険をかけておく。

② 赤いシツ疹。

③ シツ行猶予がつく。

④ シツ火原因はストーブ。

⑤ 日本のシツ器。

b セン律 (解答番号20)

① 付センを机に貼る。

② セン業主婦。

③ セン円札を使う。

④ セン札を受ける。

⑤ セン回範囲が大きい。

c カク新 (解答番号21)

① 内カク総理大臣。

④ カク定申告。

d 高ヨウ (解答番号22)

① 凡ヨウな人。

④ ヨウ殖のうなぎ。

⑤ ヨウ稚園児のお遊戯。

e ヒョウ伝 (解答番号23)

① ヒョウ河期。

② ヒョウ糧が尽きる。

③ ヒョウ準的な規格。

④ 客観的なヒョウ価。

⑤ ヒョウ白剤を使う。

[24] 傍線部1「羅列」の読みとしてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号24)

① せいれつ

② ぎょうれつ

③ られつ

④ すうれつ

⑤ たいれつ

[25] 傍線部2「爪弾く」の読みについて文脈から判断し、もっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号25)

① つめひびく

② つめはずく

③ つまびく

④ うりはじく

⑤ なりひびく

[26] 波線部アの「そこ」とは何をさすか。もっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号26)

① 論理的な文章とは異なる小説を読むこと。

② 作品の解釈の仕方を学ぶこと。

③ 文学史における作品の位置づけを知ること。

④ 正解を導き出そうと努力すること。

⑤ 教員が教える正解を覚えること。

[27] 空欄部 P に入る語としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号27)

① 音楽

② 美術

③ 言語

④ 文章

⑤ 芸術

〔28〕 波線部イの「これ」とは何をさすか。もっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔28〕)

- ① 文学史におけるその作品の位置づけを知ること。
- ② 感想を互いに述べ合って、共感すること。
- ③ 「常識」とされている解釈の仕方を会得すること。
- ④ 作者の意図を理解すること。
- ⑤ 論理的な思考を獲得すること。

〔29〕 傍線部 i 「懐の深さ」の「懐が深い」の辞書的な(一般的な)意味として、次の①～⑤から適切でないもの一つを選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔29〕)

- ① 器が大きい
- ② 寛容である
- ③ 心が広い
- ④ 所持金が多い
- ⑤ 包容力がある

〔30〕 空欄部 Q に入る語としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔30〕)

- ① 正解
- ② 愛情
- ③ 嫌悪
- ④ 知識
- ⑤ 誤読

〔31〕 二重傍線部 A 「そういう意味では」のそういう意味とはどのようなことか。次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔31〕)

- ① 知識が邪魔をして、型に嵌まった読み方しかできないこと。
- ② 小説本体に寄り添うために、何時間でも感想を述べあうこと。
- ③ アカデミズムの世界ではそれが「常識」とされていることを押さえておくこと。
- ④ そもそも「小説」を教えることなど不可能なこと。
- ⑤ 変わった切り口で小説を読み解くこと。

〔32〕 二重傍線部 B 「名前だけは有名でありながら、型通りの解釈に晒されることが多く、作品本体とはかけ離れた作家像が定着してしまっている」と作者は述べているが、次の①～⑤のうち、型通りのイメージではなく、作者がカフカに感じているイメージを一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔32〕)

- ① 不条理
- ② 悪夢的
- ③ 生の不安
- ④ 人間と現実世界への肯定
- ⑤ 内省的

〔33〕 空欄部 R に入る語句としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号〔33〕)

- ① 正念場
- ② 金字塔
- ③ 大目玉
- ④ 独擅場
- ⑤ 特別賞与

[34] 二重傍線部c「ここで驚かされるのは」とあるが、作者はどのようなことに驚いているのだろうか。次の①～⑤から、適切でないものを一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号[34])

- ① 主人公が大きな毒虫に姿を変えてしまったことに絶望していること。
- ② 主人公が大きな毒虫を見て怖がっていないこと。
- ③ 主人公は何より寝坊したことを悔やみ、会社に遅刻しそうになっていることに焦っていること。
- ④ 虫の身体になってもなお、チクタクいつている目覚まし時計を確認していること。
- ⑤ 虫の身体になってもなお七時の汽車に乘ろうと考えていること。

[35] 本文に関する内容としてもっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号[35])

- ① 小説や詩も、書き手の伝えたい主題、メッセージ、問題提起等が重要であり、それらを読者に明確に伝えることが第一義である。
- ② 小説をとりあげる授業では、まず文学史におけるその作品の位置づけ、重要性、作者の来歴、そしてその作品の解釈の仕方を知るべきである。
- ③ 小説本体に寄り添った授業では、共感しあったり、異なる意見を出したり、反論しても構わないが、教員と学生、先生と生徒という関係は越境してはならない。
- ④ カフカの作品は有名で、「不条理」「悪夢的」「内省的」「生の不安」「シオニズム」というキーワードで説明される。作品の解釈には以上のようなキーワードを駆使して解釈すべきである。
- ⑤ いかなる小説も、その小説を読んでいる最中の読者の中に沸き起こってくる正直な思いこそが、大事なのであって、小説から得られるものとは、じっさいにその作品を一文一文読むという、具体的な経験、読書の時間の中にしかない。

[36] この文章に「副題」をつけるとするなら、もっとも適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄にマークせよ(解答番号[36])

- ① カフカの憂鬱
- ② 生の不安
- ③ 不条理文学
- ④ ジミ・ヘンドリックスのギターテクニク
- ⑤ 小説は「言語芸術」